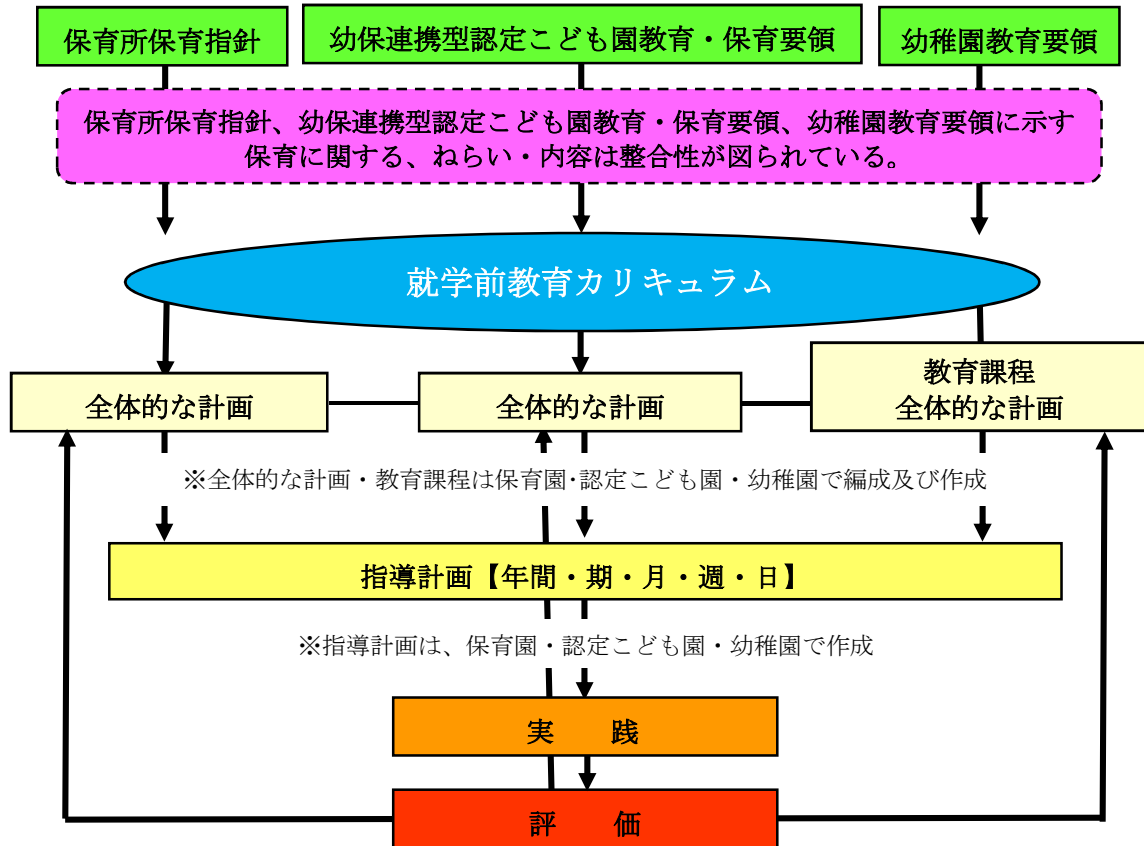


## 熱海市就学前教育カリキュラム

～生きる力を育む熱海市の就学前教育～

【就学前教育カリキュラムを活用した全体的な計画・教育課程の編成】



## 1 熱海市の未来を担う子どもたちに必要とされる資質・能力

これからの時代は、AIに代表される技術革新の進歩やグローバル化・情報化の進展に伴い、変革の周期が短くなっていくといわれています。このような未来社会を切り開くため、幼児期から育まれる自尊心・道徳心・思考力等をもとに、自己肯定感や自立心・他者との協同・チャレンジする力・課題解決力が求められます。さらに、国際観光温泉文化都市である熱海市の市民としての自覚・品性・おもてなしの心・癒しの心を身に付け「郷土「熱海」を愛する心」を育てていくことが大切であると考えます。

## 2 目指す子どもの姿

「自分が好き、熱海が好き」

～自分らしさを発揮し、たくましく生きる力をもった子～

## 3 自分らしさを発揮し、たくましく生きる力を育むために身に付けたい「3つの力」

(ア) つながる力・・・自尊心、伝え合い、社会生活との関わり等

(イ) 元気に生活する力・・・自立、健康、道徳心等

(ウ) 考えてチャレンジする力・・・挑戦、思考力、感性等

4 「3つの力」を構成する要素と経験させたい内容

	要 素	内 容
つ な が る 力	自尊心・信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な大人との信頼関係を築いて安心して生活し、自分や他の人を認める。</li> <li>・何かができた時に喜んだり、自分を褒めたりする気持ちをもつ。</li> </ul>
	興味・自然との関わり・ 生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境にかかわり、様々なものや出来事に興味・関心をもつ。</li> <li>・身近な動植物に親しみ、生命の尊さに気づいて大切にすること。</li> <li>・自然を見たりふれたりする中で、その美しさ・不思議さに気づく。</li> <li>・身近なものを大切にすること。</li> </ul>
	伝え合い・くみ取る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を集中して聞き、理解しようとする。</li> <li>・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現する。</li> <li>・表情や動きから、相手の思いをくみ取ろうとする。</li> <li>・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞く。</li> </ul>
	社会生活との関わり・感謝・ 思いやり・協同性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方や公共の施設の利用などを通して、社会とのつながりを意識するようになる。</li> <li>・家族や友達の大切さに気づき、感謝の気持ちや思いやりをもってかかわる。</li> <li>・友達と楽しく活動する中で、共通の目的に向かって工夫したり協力したりする。</li> </ul>
元 気 に 生 活 す る 力	自立・自信・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につけ、自分でできることは自分でしようとする。</li> <li>・様々なことに自信を持って積極的に取り組む。</li> <li>・早寝・早起き・朝ご飯など、健康な生活リズムを身につける。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わい、心と体を十分に動かす。</li> <li>・一日の生活の流れを理解し、見通しをもって行動する。</li> </ul>
	道徳心・規範意識・共感・ 折り合い・ルール・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良いことと悪いことに気づき、自分で判断して行動する。</li> <li>・友達と積極的にかかわる中で、喜びや悲しみを共感し、相手の立場に立って行動するようになる。</li> <li>・トラブルや葛藤する体験を通して、相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを調整することで、折り合いをつける。</li> <li>・友達と楽しく遊ぶためのルールがわかり、守ろうとする。</li> <li>・危険な場所や遊び方、災害時などの行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。</li> </ul>
	食事・食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物に興味・関心をもち、楽しんで食事をする。</li> <li>・食べ物や食べることの大切さに気づき、残さず食べようとする。</li> </ul>
考 え て チ ャ レ ン ジ す る 力	挑戦・達成・ねばり強さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのことや苦手なことにも、積極的に挑戦しようとする。</li> <li>・失敗してもあきらめずに、最後までやり遂げようとする。</li> </ul>
	意欲・気づき・思考力・ 探究心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なことに好奇心をもって意欲的に取り組み、その性質や仕組みに興味をもって探求しようとする。</li> <li>・日常生活の中で、文字や数量・図形などに関心をもち、遊びに取り入れようとする。</li> <li>・主体的に遊びを見つけ、試行錯誤や工夫を繰り返しながら遊び込む。</li> </ul>
	感性・表現・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で、美しいものや心を動かすことに出会い、イメージを豊かにする。</li> <li>・感じたことやイメージしたことを自分なりに工夫して、描いたり作ったりすることを楽しんだり、音や動きなどで表現したりする。</li> </ul>

5 熱海市就学前教育グランドデザイン



## 6 歳児別の目標の設定

熱海市の目指す子どもの姿及び目指す子どもの具体像を踏まえて、歳児別の目標を下記のとおりを設定する。

歳児	歳児別の目標
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定の保育者との十分なスキンシップの中で温かく見守られ、安定した情緒と生活リズムをつかむ。</li> <li>○喃語の発達が盛んになり簡単な言葉の意味がわかりはじめる。</li> <li>○座る、寝返り、はう、つかまり立ちなどをしようとする。</li> <li>○特定の保育者との触れ合いの中で感覚の働きを豊かにする。</li> </ul>
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事、排泄、着脱など、自分でしようとする気持ちをもつ。</li> <li>○保育者や友達に興味や関心をもち、自分の思いや欲求を身振りや言葉などで伝えようとする。</li> <li>○一人歩きができるようになり、自分が行きたいところに行こうとする。</li> <li>○一定時間、安定して眠れるようになる。</li> <li>○興味や関心をもったことや物に意欲的にかかわろうとする。</li> </ul>
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らしようとする気持ちを受け止めてもらいながら、自分でできたという満足感を味わう。</li> <li>○身近な人への興味や関心を広げ、保育者や友達と遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○遊びに簡単な約束があることがわかってくる。</li> <li>○走る、跳ぶなど自分の思うように体を動かして遊ぼうとする。</li> <li>○身の回りの興味・関心のあることを模倣して遊ぼうとする。</li> </ul>
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○自分の思いを出しながら、保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○身近な環境に興味・関心をもち、自分からかかわろうとする。</li> </ul>
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1日の生活の流れが分かり、必要なことを自分でしようとする。</li> <li>○気の合う友達とイメージを重ねながら遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○喜んで運動遊びをしたり、友達と一緒に遊んだりしながら、集団としての行動もできるようになる。</li> <li>○身近な環境に自分から関わり、様々なことを感じ、発見したり考えたりする。</li> </ul>
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の仕方を身につけ、自分の身の回りのことを進んで行い、見通しをもって生活を進めていこうとする。</li> <li>○友達と目的に向かって遊びや生活を進める中で、友達と協力し、役割を分担しながらやり遂げる充実感や達成感を味わう。</li> <li>○自分の体を十分に動かす楽しさを味わう。</li> <li>○意欲や好奇心、探究心をもって身近な環境にかかわり、様々なことに気付き、考えたり、発見したりしたことを生活や遊びに取り入れていこうとする。</li> </ul>

7 「3つの力」と保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領に示される、保育に関するねらいとの関連

乳 児		ね ら い	3つの力		
			つ な が る 力	元 気 に 生 活 す る 力	考 え て チ ャ レ ン ジ す る 力
健やかに伸び伸びと育つ	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力の基盤を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。</li> <li>② 伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。</li> <li>③ 食事、睡眠等の生活のリズムの感覚が芽生える。</li> </ul>	○	◎	
身近な人と気持ちが通じ合う	受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 安心できる環境の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。</li> <li>② 体の動きや表情、発声等により、保育者と気持ちを通わせようとする。</li> <li>③ 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。</li> </ul>	◎	◎	
身近なものと関わり感性が育つ	身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。</li> <li>② 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。</li> <li>③ 身体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。</li> </ul>	○	○	◎

1歳以上3歳未満児 【5領域】		ねらい	3つの力		
			つながる力	元気に生活する力	考えてチャレンジする力
健康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。</li> <li>② 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。</li> <li>③ 健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。</li> </ul>	○	◎	
人間関係	他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育所・認定こども園での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。</li> <li>② 周囲の子ども（園児）等への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。</li> <li>③ 保育所・認定こども園での生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。</li> </ul>	◎	◎	
環境	周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。</li> <li>② 様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。</li> <li>③ 見る、聞く、触る等の経験を通して、感覚の動きを豊かにする。</li> </ul>	○	○	◎
言葉	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。</li> <li>② 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。</li> <li>③ 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。</li> </ul>	◎		○
表現	感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。</li> <li>② 感じたことや考えたこと等を自分なりに表現しようとする。</li> <li>③ 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。</li> </ul>	○		◎

3歳以上児 【5領域】		ねらい	3つの力		
			つながる力	元気に生活する力	考えてチャレンジする力
健康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。</li> <li>② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。</li> <li>③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。</li> </ul>	○	◎	
人間関係	他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育所・認定こども園・幼稚園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。</li> <li>② 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。</li> <li>③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</li> </ul>	◎	◎	○
環境	周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。</li> <li>② 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。</li> <li>③ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</li> </ul>	○	○	◎
言葉	経験したことや考えたこと等を自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。</li> <li>② 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。</li> <li>③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語等に親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育者や友達と心を通わせる。</li> </ul>	◎		○
表現	感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① いろいろなものの美しさ等に対する豊かな感性をもつ。</li> <li>② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</li> <li>③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</li> </ul>	○		◎

8 3つの育みたい力とその要素に基づき、各歳児において大事にする教育・保育内容

●教育・保育内容（つながる力）

		0歳（～6か月）	0歳（～15ヶ月）	1歳児	2歳児
つ な が る 力	自尊心・信頼	○声や泣き声で自分の欲求を表し、なだめられたり受け入れてもらったりすることで安心する。	○心地良いときは笑ったり、ほほ笑んだりし、不快な時は泣いて欲求を表す。 ○保育者からの触れ合いや語りかけに対し、応えようとする。	○表情や身振りなどで自分の気持ちを表したり、簡単な言葉を使ったりする。 ○保育者や友達と一緒にいることに喜びを持ったリ、楽しんだりする。	○自分で表した気持ちや欲求を受け止めてもらうことを喜ぶ。 ○保育者に援助されながら自分でできたという喜びを感じる。
	興味・生命尊重 自然とのかかわり	○手に触れた物を握ったり、耳に聞こえた音に反応したりする。 ○身近な自然に触れる。	○戸外に出ることや散歩に行くことを喜び、周囲の物事や動物などに関心を示す。 ○身近な自然を見たり、触れたりして関心をもつ。	○身近な生活の模倣や見立て遊びを楽しむ。 ○戸外の自然に触れながら、植物や小動物などに関心をもつ。	○身近な環境に興味をもち、かかわろうとする。 ○身近な動植物を見たり、触れたりして関心が高まる。
	伝え合い・くみ取る	○心地良い時は笑ったり、ほほ笑んだりし、不快な時は泣いて伝えようとする。 ○音や声に反応して顔を向ける。 ○保育者の言葉かけに対して、喃語や表情で反応しようとする。	○保育者の語りかけや働きかけに、声を出したり、応えようとしたりする。 ○ほしいものなどを片言や動作で伝えようとする。 ○保育者に相手してもらおうことを喜ぶ。 ○絵本を見せてもらうことを喜ぶ。	○ほしいものなどを指差しや身振りや簡単な言葉で伝えようとする。 ○保育者の言葉かけの内容を理解し、応えようとする。 ○寝められていることや叱られていることがわかる。 ○絵本を読んでもらうことを喜ぶ。	○保育者を仲立ちとして、生活や遊びの中で簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ○自分の思いや行動のすべてが受け入れられないこともあることに気づく。 ○生活に必要な言葉がわかるようになる。 ○繰り返しのある絵本を楽しんだり、模倣したりする。
	社会生活との関わり 思いやり・感謝 協同性	○あやされることを喜び、声を出したり笑ったりする。	○保育者と視線を合わせ、表情や喃語などを通してやり取りを楽しむ。	○生活や遊びの中で保育者を仲立ちとして、簡単な単語や物のやり取りをする。 ○保育者と触れ合ったり、話をしたりすることを通じて気持ちを通わせる。	○保育者が仲立ちとなり、友達にも関心をもって遊ぶ。
	環境・援助	○優しい言葉、声、まなざし、笑顔での働きかけなどを通して、子どもの情緒の安定や人との心地良いかかわり、周囲への関心を育てていく。 ○笑ったり泣いたりする子どもの姿に愛情をもって優しく応え、発声にตอบสนองしながら喃語や表情を引き出す。 ○ゆったりと心地よく過ごせるように、子どもの小さな欲求を見逃さず受け止め、快は一緒に喜び、不快は取り除くようにする。	○大人にあやされることを好むので、表情豊かにスキンシップを図りながら一人一人の子供の欲求や甘えなどを十分に受け入れ、安心して自分の思いが出せるようにする。 ○子どもが表現したことを受け止め、優しく、ゆっくり、はっきりと応えたり、語りかけたりする。 ○月齢にあった絵本を用意する。 ○散歩に行ったり戸外遊びをしたりする機会を多くもち、自然と触れ合う心地よさを味わえるようにする。	○保育者との信頼関係を築き、周りの友達へのかかわりを広げていけるようにする。 ○一人一人の子どもの気持ちを理解し、受け止めることで、子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ○トラブルも多くなるが、状況をよくみて一人一人の思いを受け止め、気持ちを安定させるよう配慮する。 ○自分の思いを言葉で伝えようとする姿を受け止め、保育者が言葉を添えて応答的にかかわることによって、思いが伝わる楽しさを味わわせる。 ○発達や興味にあった、遊具・絵本を用意する。 ○花や虫などを見つけたリ、触れたりすることで自然に対しての関心を高める。	○遊びの中で、保育者が仲立ちとなって友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ○自我を通そうとする時には、一人一人の気持ちをくみ取り、安定を図りながら相手の気持ちにも触れられるようにする。 ○友達を意識し一緒に遊ぶ楽しさを感じられるような環境を整え、保育者が仲立ちとなって「かして」などのやり取りをし、ともに楽しむようにする。 ○保育者や友達とごっこ遊びや繰り返しのある絵本などを楽しみ、いろいろな言葉に触れ、まねをしたり、やり取りを楽しんだりできるようにする。 ○安全面や衛生面に留意しながら、自然に触れ合う機会を十分にもつようにする。また、保育者が愛情をもってかかわるようにし、子ども自らがやってみようとする意欲を育てるようにする。



		3 歳児	4 歳児	5 歳児
つ な が る 力	自尊心・信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>○したことや感じたことなどを保育者に受け止められ、安心感をもつ。</li> <li>○自分なりにやってみて、できた喜びを十分に味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者や友達の言っていることや考えていることを受け止めて行動しようとする。</li> <li>○自分なりにやり遂げた満足感や、身近な人に認められることを通して、自信をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のことを相手にわかるように伝えたり、相手の話していることを相手の立場に立って受け入れたりする。</li> <li>○繰り返し挑戦して達成したり、様々な人に認められたりして、満足感を味わい自信をもつ。</li> </ul>
	興味・生命尊重 自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な草花や小動物、自然現象に興味をもってかかわる。</li> <li>○身近な事物に関心をもち、触れる、集める、並べるなどして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の美しさに触れて感動したり、自然物を使って遊ぶことを楽しんだりする。</li> <li>○身の回りの物の色、形などに興味をもち、集める、分ける、組み合わせるなどしながら遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な動植物に親しみをもって接し、生命の大切さに気づく。</li> <li>○身近に起こる様々な事象に関心をもち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。</li> </ul>
	伝え合い・くみ取る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親しみをもって保育者の話を聞いたり、困ったことやしてほしいことを言葉で伝えたりする。</li> <li>○「入れて」「貸して」など身近な生活の中で必要な言葉に気づき、自分も使ってみる。</li> <li>○保育者に「なんで?」「どうして?」と質問する。</li> <li>○挨拶などをする楽しさを感じる。</li> <li>○絵本や紙芝居を繰り返し見たり聞いたりすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者や友達の話を、親しみをもって聞く。</li> <li>○遊びや生活に必要な言葉の意味がわかり、進んで使う。</li> <li>○保育者や友達に親しみをもって挨拶をしたり、保育者や友達と会話を楽しんだりする。</li> <li>○友達との遊びの中で、相手の話を理解したり、相手の気持ちに気づいたりする。</li> <li>○絵本、歌などの中で言葉の面白さに気づき、繰り返し声に出して楽しむ。</li> <li>○絵本や紙芝居などの内容やストーリーに興味をもち、イメージを広げて楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の言うことを受け入れたり、自分の思いを伝えたりしながら、話すことを楽しむ。</li> <li>○聞いて心地良い言葉やうれしい言葉があることに気づき、自分も使おうとする。</li> <li>○進んで挨拶をしたり、みんなの前で話したりする。</li> <li>○様々な体験を通してイメージを豊かにし、言葉で表現する。</li> <li>○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わったり自ら表現したりして、言葉の面白さや美しさを味わう。</li> </ul>
	社会生活との関わり 思いやり・感謝・協同性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な様々な人と触れ合うことを喜ぶ。</li> <li>○保育者や友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ。</li> <li>○保育者や友達と一緒に共通のイメージを持ちながら、ごっこ遊びや表現遊びを楽しむ。</li> <li>○友達とのトラブルを通して、友達の思いに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の気持ちを考え、思いやりの気持ちをもって生活する。</li> <li>○異年齢の子どもに親しみをもったり、進んで遊んだりする。</li> <li>○園内の大人や地域の方などに親しみをもち、一緒に活動する楽しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見だし、協力して物事をやり遂げる充実感を味わう。</li> <li>○共通の目的をもって遊ぶ中で友達の思いや考えを受け入れ、一緒に遊びを進めることを楽しむ。</li> <li>○一人ではできないことが友達と一緒にだとしてできる喜びや満足感を味わう。</li> <li>○身近な友達とのかかわりを深めるとともに、異年齢の子供など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみをもつ。</li> <li>○高齢者をはじめ地域の方など、自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。</li> </ul>
環境・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者や友達と遊ぶ中で、安心して自分を出し、楽しさや面白さを味わえるように共感的にかかわる。</li> <li>○トラブルになった時は、思いが通らない悔しさを受け止めて気持ちを安定させたり、仲立ちとなって相手に思いを伝えたりする。</li> <li>○友達と一緒にする遊びが十分に楽しめるような遊具を用意する。</li> <li>○自然に触れる中で、においを嗅いだり、触ったり、美しさを感じたりして、身近な自然に興味膨らむようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と多様なかかわりがもてるようにするとともに、一人一人が十分に自己発揮できるように援助する。</li> <li>○生活や遊びの中で、自分と相手のイメージがそれぞれあることに気づくような機会をつくっていく。また、保育者と一緒に考えたり互いの思いを受け入れたりしながら、心を通わせていく心地よさを味わえるようにする。</li> <li>○生活や遊びに必要な言葉や決まりの必要性を理解し、守ろうとする気持ちももてるように援助する。</li> <li>○園内外の自然に触れ、季節感を感じられる環境を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と力を合わせ、試行錯誤しながら活動する楽しさや、共通の目的が実現する喜びが味わえるように、友達とのかかわりが生まれやすい環境を提案したり、子ども同士をつなぐ援助を行ったりする。</li> <li>○友達とのかかわりの中で、自分の気持ちを調整し、互いに認め合うことで、生活がより豊かになっていく体験を重ねていけるようにかかわる。</li> <li>○自分たちが、周りの人に支えられていることを感じられるよう、感謝の気持ちを伝える場や機会を設ける。</li> <li>○飼育栽培を通して動植物の生態に興味・関心をもち、生命がもつ不思議さや尊さに気づけるようにする。</li> <li>○異年齢児と交流し、自分より幼い子どもに優しく接し、年長者としての経験や力を発揮できるようにする。</li> <li>○就学に向けての期待や不安な気持ちを十分受け止め、一人一人が自信をもって、入学を楽しみにできるようにする。</li> </ul>	

●教育・保育内容（元気に生活する力）

		0歳（～6か月）	0歳（～15ヶ月）	1歳児	2歳児
元気に生活する力	自立・自信・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定の大人に親しみや安心感をもち、安定した気持ちです。</li> <li>○生理的欲求を満たしてもらい、安心して過ごす。</li> <li>○動くものを目で追ったり、手を伸ばして握ろうとしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りの様々なものに気づき、かかわっていきこうとする。</li> <li>○一人一人の生活リズムが安定して眠ったり、食事したりする。</li> <li>○一人一人の発達にあった体の活動を十分に行う（座る、這う、立つ、伝い歩き、一人歩き）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事、着脱、排泄などの身の回りのことに興味をもち、自分でしようとする。</li> <li>○一定時間安定して眠る。</li> <li>○歩行が完成し、行動範囲が広がり、歩くことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○簡単な生活リズムが分かる。</li> <li>○歩いたり、跳んだり体を動かしたりして、遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
	道徳心・規範意識・共感 折り合い・ルール・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規則正しい生活に心地良さを感じ、安定した気持ちで過ごす。</li> <li>○あやしてもらったり、触れてもらったりすることを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者の言葉掛けに対して、応えようとする。</li> <li>○喃語や片言を優しく受け止めてもらい、保育者とのやり取りを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者の言葉掛けがわかり、行動しようとする。</li> <li>○保育者と触れ合ったたり、話をしたりすることを通じて気持ちを通わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者からの言葉掛けで、約束やルールがあることを知る。</li> <li>○自分で表したい気持ちや欲求を受け止めてもらうことを喜ぶ。</li> </ul>
	食事・食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授乳、離乳を通して食べる喜びや楽しさを体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○離乳食を喜んで食べ、様々な食べ物を味わう。</li> <li>○食べることに期待をもち、お腹がすいたら催促をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な食べ物に興味をもち、保育者の援助を受けながらスプーンやフォークを使って楽しく食事する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スプーンやフォークの正しいもち方を知り、楽しく食事をする。</li> <li>○身近な人と一緒に食べる喜びや楽しさを感じる。</li> </ul>
	環境・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定の保育者の愛情豊かな受容によって、情緒が安定していく。担当の保育者を決めて、愛着関係を育むとともに、一人一人の生活のリズムに合わせて生理的欲求を満たし、気持ちよく過ごせるようにする。</li> <li>○病気に対する防衛機能が未発達なので衛生面に留意し、体調の小さな変化に気づくようにする。</li> <li>○睡眠時の状態に十分な気配りをする。</li> <li>○必要に応じてクッション等を用意して、腹ばいや一人座りを援助していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の月齢の違いに留意しつつ、生理的欲求を十分に満たし、生命の保持と生活の安定を図る。</li> <li>○一人一人の体調や家庭での生活リズムを考慮し、食べる、眠る、遊ぶのリズムを意図的に作りながら、睡眠が十分取れるようにする。</li> <li>○一人一人の子どもにとって快い体位で遊ばせながら、次第に寝返りや腹ばいへと導いていく。</li> <li>○一人一人に合った移動運動が安全にできる斜面や広い空間を用意し、玩具や言葉掛けで誘って楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心できる保育者とともに、ゆったりと食事、排泄、着脱を行いながら自分でしようとする意欲を育むようにする。</li> <li>○自分でしようとする行動に合わせて、言葉をかけたり手助けをしたりして励まし、できた時にはしっかりと褒め、自分でしようとする気持ちを大切に育てる。</li> <li>○歩行の確立により、盛んになる探索活動が十分にできるように、安全に配慮しつつ、環境を整え応答的にかかわる。</li> <li>○全身を使うような遊びや手や指を使う遊びでは、子どもの自発的な活動を大切にしながら、時には保育者がやってみせるなど保育者と一緒に楽しんで遊べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分でできることに喜びを感じられるような言葉掛けや援助をし、個人差を考慮しながら一人でできたことへの喜びや自信がもてるようにする。</li> <li>○生活や遊びの中に約束やルールがあることを、繰り返し伝えていく。</li> <li>○戸外に出る機会を多くし、安全面に配慮しながら伸び伸びと体を動かして遊べるようにしていく。</li> <li>○戸外遊びや遊具で遊ぶ活動を大切にし、走る、跳ぶ、登る、降りるなどの全身を使う遊びを取り入れ、子どもの動きに合わせて遊ぶことで意欲を引き出していく。</li> <li>○行動範囲が広がっていくので安全面に留意する。</li> </ul>

		3 歳児	4 歳児	5 歳児
元 気 に 生 活 す る 力	自立・自信・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りの清潔や衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要なことを自分からしようとする。</li> <li>○一日の生活の流れを意識しようとする。</li> <li>○保育者と一緒に戸外で体を動かす心地良さを味わう。</li> <li>○身近な遊具や用具などを使った運動や遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りのことを自分でできるようになる。</li> <li>○遊びや生活に必要な準備や片付けなど、やり方が分かり進んで行おうとする。</li> <li>○自分の健康に関心を持ち、うがい、手洗いや衣服の調整などを進んで行う。</li> <li>○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。</li> <li>○遊具、用具などを使い、様々な動きを組み合わせる積極的に遊ぶ。</li> <li>○簡単なルールの下で、体を動かす遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊びや生活の中で、自分らしさを発揮しながら自発的に物事に取り組む。</li> <li>○一日の流れに応じて、自分で見通しを立てながら遊んだり、生活したりする。</li> <li>○生活に必要な習慣の大切さがわかり、健康的な生活を進めようとする。</li> <li>○様々な運動用具をすすんで使い、工夫して遊ぶ。</li> <li>○自分の力を発揮したり、競い合ったりして、全身を動かして遊ぶ満足感を味わう。</li> </ul>
	折り合い・道徳心・規範意識・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活や遊びの中で簡単なきまりがあることを知り、それを守ろうとする。</li> <li>○みんなでするものがあることが分かり、一緒に使おうとする。</li> <li>○保育者の援助を受けながら、危険な場所や遊び方を知り、気をつけようとする。</li> <li>○友達とのトラブルを通して、友達の思いに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。</li> <li>○遊びや生活の中での様々な葛藤を通し、気持ちに折り合いをつけることを知る。</li> <li>○やって良いことと悪いことが分かり、状況を感じて自分なりに行動しようとする。</li> <li>○共同のものを大切にしてみんなで使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と一緒に遊びを発展させる中で、自分たちで遊び方やきまりを作り出し、守って遊ぶ。</li> <li>○危険な物や場所、遊び方が分かり、状況を判断して、安全に気をつけて遊ぶ。</li> <li>○やって良いことと悪いことが分かり、考えながら行動する。</li> <li>○共同の遊具や用具を大切にし、譲り合って使う。</li> </ul>
	食事食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しい雰囲気の中で、食べ物を進んで食べようとする。</li> <li>○食事のマナーを知り、楽しく食事をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事のマナーを守りながら、友達と一緒に楽しく食べる。</li> <li>○料理や食材に興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食材を育てている人や調理している人に感謝の気持ちを持ち、友達と一緒に楽しんで食事をする。</li> </ul>
	環境・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の実態に応じて、生活習慣を身につけていく過程を大切に、きめ細やかにかかわり、自分でできた満足感を味わえるようにする。</li> <li>○排泄をぎりぎりまで我慢してタイミングが合わず、失敗することも見られるので、不安にならないように声を掛けたり、手早く着替えの手伝いをしたりする。</li> <li>○個々の発達や生活経験を考慮しながら「やってみたい」と思えるような環境を構成し「楽しかった」という満足感を味わえるようにしていく。</li> <li>○体を動かすことが楽しくなり、何でもやってみたいという意欲をもつようになるので、様々な運動遊びを経験することで、力を調整できるようにしていく。</li> <li>○危険への判断が難しいので、状況に応じて声をかけ気づかせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分で考えて動けるように回りの様子を気付かせ、意識や意欲を育み、生活の仕方が身に付くようにする。</li> <li>○必要感をもって、自分のことが自分でできるという自信や満足感を味わえるように援助していく。</li> <li>○時間の流れや場の使い方が自分で分かり、自発的に行動していけるような環境を整える。</li> <li>○伸び伸びと自分のやりたいことに向かって取り組めるよう、子どもの興味・関心に沿った環境を用意する。</li> <li>○いろいろな動きを組み合わせる遊ぶことを楽しむようになってくるので、平均台や巧技台など、様々な運動遊具や用具を用意し、体を動かす楽しさを知らせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人が自立した生活をしようとするよう見守りながら、状況に応じた働きかけをしていく。</li> <li>○手洗い、うがいや衣服の調節など、自分の健康に気づいて行えるような環境構成の工夫や声掛けを行う。</li> <li>○自分たちの生活に必要な行動やきまりがあることに気づかせ、自ら行動しようとする態度を大切ににする。</li> <li>○活動に見通しをもつようになってくるので、子どもと一緒に安全について考えながら、その場に応じた行動が取れるようにしていく。</li> <li>○自分なりの目標に向かって、精一杯力を出して取り組んでいる姿を受け止め、励ましたり、共感したりしながら、自信をもてるようにする。</li> <li>○食品の種類や体への働きを伝え、食事の大切さを理解できるようにする。</li> </ul>

●教育・保育内容（考えてチャレンジする力）

		0歳（～6か月）	0歳（～15ヶ月）	1歳児	2歳児
考えてチャレンジする力	挑戦・達成 ねばり強さ	○腹這い姿勢で手足を十分動かして遊ぶ。	○保育者に援助されながらも、座る、這う、立つ、伝い歩き、一人歩きなど全身を使って動こうとする。	○身近な人や物に自発的にかかわっていき、新しい環境に触れていこうとする。	○様々なことに興味をもち、できたことに喜びを感じる。
	意欲・気づき・思考力・探究心	○動くものを目で追ったりする。 ○手にふれたものを見たり、なめたりして確認する。 ○音を聞く、物を見る、握る、つかむ、しゃぶるなどの動きを十分ににする。	○興味のある所へ自分で移動し、触る、なめる、見る、登る、降りる、押す、引っ張る等して遊ぶ。 ○保育者に見守られながら、遊具や身に回りのもので一人遊びを十分ににする。	○体を十分に動かし、探索活動を楽しむ。 ○様々な素材に触れ、全身や手先、指先を使って遊ぶ。	○戸外で花や石など、自分の気に入ったものを手に取って遊ぶことを楽しむ。 ○保育者や友達がすることに興味をもち、やってみようとする。
	感性・表現・工夫	○自分の感情や気持ちを喃語や表情、動作によって表現する。	○保育者と一緒に、水、砂、土、紙、小麦粉粘土などいろいろな素材に触れる。 ○歌や音楽を聞き、音にあわせて体を動かすことを喜ぶ。 ○保育者が歌ったり手遊びをしたりしてくれるのを楽しむ。	○ちぎる、破る、クレヨンでなぐり描きをするなどの手や指先を使った遊びを十分に楽しむ。 ○砂遊びや水遊びなどを楽しみ、様々なものの感触を楽しむ。 ○保育者と一緒に歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。	○のりやはさみなどに興味をもち、保育者と一緒に使いながら、遊びを楽しむ。
環境・援助	○子どもの心地良い姿勢で遊ばせながら、寝返りや腹這いの機会をできるだけ多くつくるようにする。 ○触る、握る、なめるなどの感触を楽しむため、安全で清潔なものを用意する。 ○玩具は大きさ、形、色、質など、発達状態に応じて選び、清潔に心がける。	○身の回りのことに興味・関心をもてるよう、みる、聞く、触れるなどの五感を使った遊びを、特定の保育者と楽しみ、穏やかな刺激を与えるようにする。 ○目と手の協応が発達してくるので、音の出る玩具、追視玩具、触ったり振ったりしながら遊べる玩具など一人一人の発達にあった環境を整え、驚きや楽しさを十分味わえるようにする。 ○目に見えなくなった物が出てくるのを期待して待つなど、次に起こることを予測でき、それが叶えられることが嬉しいので「いないいないばあ」などの遊びで楽しさを味わえるようにする。	○子どもの発見や驚き、欲求を受け止め共感するとともに、一人一人の発達を理解しながら見守ったり、援助したりしていく。 ○「何かな？やってみよう」などの探索意欲を大切に、保育者が連携を取りながら、しっかり見守り安全に遊べるようにする。 ○子どもの発達や興味・関心に応じて、ままごと、積み木、小麦粉粘土、ひも通し、絵本などの遊びの環境づくりをし、一人一人がじっくり落ち着いて遊べるようにする。 ○いろいろな歌、音楽に触れる時間を大切に、保育者や友達と一緒に表現することの楽しさを味わえるようにする。	○子どもが興味をもって楽しめるような環境を整える。 ○自らやってみようとする気持ちや繰り返しやってみようとする気持ちがあるような言葉かけをする。 ○日々の生活の中で、見たり感じたりしたことを模倣して遊べるよう音楽や用具を用意し、場を作るなど環境を工夫する。 ○自分の感じたこと、経験したこと、見たことを伸び伸びと表現する心地よさを感じられるように、一人一人の思いをしっかり受け止め、イメージを引き出す言葉かけをしながら、興味や表現の方法を広げていく。 ○子どもの発見や驚き、疑問などに共感し、一緒に考えたり試したりして、根気よく丁寧に関わり、子どもの知りたい気持ちを満足させる。	

		3 歳児	4 歳児	5 歳児
考えて チャレンジする 力	挑戦・達成 ねばり強さ	○様々なことに興味をもち、自分でできることは自分でしようとする。	○友達とイメージを共有しながら遊びを楽しみ、できたときの充実感を味わう。 ○初めてのことに興味をもって挑戦する。	○自分なりのめあてをもって活動に取り組み、最後までやり遂げた達成感を味わう。 ○苦手なことにも繰り返し挑戦し、粘り強く取り組もうとする。
	意欲・気つき・思考力・探究心	○身近なものに触れ、見立てたり偶然できたもので遊んだりすることで、物の感触や形、使い方などに興味をもつ。 ○身近なものや遊具に興味をもって積極的にかかわる。 ○室内の身近な表示に関心をもつ。 ○生活や遊びの中で数や量などの違いに気づき、興味をもつ。	○身の回りの物の色、形などに興味をもち、集める、分ける、組み合わせるなどしながら遊ぶ。 ○重い、軽い、固い、柔らかい、伸びる、縮むなどの物の性質に気づき、遊びに取り入れる。 ○身近な道具の使い方がほぼ分かり、様々な場面で積極的に使おうとする。 ○気に入った絵本や図鑑などに興味をもち、繰り返し見て楽しむ。 ○具体的な物を通して、数や量などに関心をもち、簡単な数の範囲で数えたり比べたりすることを楽しむ。	○友達と一緒に考えたり、試したり工夫したりして、遊びを発展させて楽しむ。 ○ものの性質や仕組みについて考えたり気づいたりし、遊びに活かす。 ○目的や課題を自分のこととして受け止め、これまでの経験を活かすなどして工夫して取り組む。 ○ゲームや遊びの中で数を数えたり、文字に触れたりすることなどを通して数や文字に興味をもち、必要感をもって遊びに使う。
	感性・表現・工夫	○身近な素材や用具を使って好きなように描いたり作ったりして楽しむ。 ○動物や乗り物など、身近な物の動きを模倣して、体で表現することを楽しむ。 ○音楽に合わせて、歌ったり、リズム楽器を鳴らしたり、体を動かしたりして楽しむ。	○様々な素材にかかわり、作った物を使って遊んだり、保育者や友達と一緒に身の回りを飾ったりして楽しむ。 ○自分なりに工夫して表現することを楽しむ。 ○音楽に親しみ、友達と一緒に聴く、歌う、体を動かす、簡単なリズム楽器を鳴らすなどして楽しむ。 ○絵本等の中の人物や身近な動物などになりきって遊んだり、音楽やリズムに合わせて動いたりすることを楽しむ。	○様々な素材や用具を利用して、自分なりに描いたり作ったりして楽しむ。 ○音楽に親しみ、友達と一緒に聴く、歌う、踊る、楽器を鳴らすなど、音色の美しさやリズムの楽しさを味わう。 ○友達と一緒に工夫して描いたり作ったりすることを楽しみ、それを遊びに使ったり飾ったりする。 ○物語のストーリーに沿って友達と遊びを進めたり、友達とイメージを出し合ったり遊を進めたりして楽しむ。
	環境・援助	○保育者が様々な遊びや素材を提供したり、身近な自然と触れ合える環境づくりをしたりする。 ○一人一人の興味・関心をとらえ、じっくり遊び込める時間と空間を確保する。 ○日々の生活の中で、様々なことを体験しながら、保育者がモデルとなって遊びを進めたり、楽しさを共感したりして、満足感を味わえるようにする。 ○水、砂、泥などで、思う存分楽しみ、これらの素材の感触に親しみがもてるようにする。	○一人一人の遊びを見守り、必要に応じてアイディアやヒントを出し、遊びを援助したり、発展させたりする。 ○友達と一緒にじっくりと遊び込めるような場や環境を工夫する。 ○園内外の身近な環境に興味・関心をもち、遊びの中に取り入れていけるよう援助する。 ○生活や遊びの中で数量・図形などに触れる機会をつくり、興味を引き出す。 ○生活の様々な場面の中で、自然や社会の事象に対する好奇心や探究心を満たすようにする。 ○役割を意識してごっこ遊びを楽しむようになるので、イメージを共有しやすいものや場の設定を子どもと共にやる。 ○身近な素材を使って繰り返し遊ぶ中で、素材の性質を理解したり、工夫した使い方を見つけたりしていく。	○子どもが心と体を働かせて、物とじっくりかかわったり、友達の考えに触れたりする機会を意図的、計画的に作る。 ○新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自ら考えようとする気持ちが育つよう援助する。 ○互いの思いや考えに気づき、自分たちで遊びを進めていけるよう、子どもたち同士で考えたり相談したりする場や、それぞれの遊びが関連しながら展開していくような環境を作る。 ○文字や数量などに触れる機会を設け、道具や知識としてではなく、必要感をもって生活や遊びに取り入れ、数量や図形、文字などに関心を深めていけるようにする。 ○直接的な体験を通して、自然や社会の事象に対する好奇心や探究心を満たせるよう、調べたり試したりできるような環境を工夫する。

## 9 特別支援教育への取り組み

子ども一人一人の力を最大限に伸ばすため、専門的な知見をもとにした、特性理解に努め、適切な支援体制を整えることに配慮し、子どもの伸びようとする力を支えていく。

### (1) 園内体制の整備・充実

- ・全園で設置されている「園内教育支援委員会」などの充実や「特別支援コーディネーター」の配置などにより、個に応じた支援や教育内容の充実を図る。
- ・乳幼児期から関係機関と連携し、臨床心理士等による園訪問や連携会議をもとに、支援を必要とする子どもの特性に応じた教育相談や支援、就学支援などを行う。
- ・ことばの発達に気になるあらわれがある子に対しては、言語聴覚士の発達検査を活用し、必要な支援の方向性を見出していく。

### (2) 小学校への切れ目のない支援体制を図る

- ・個別の支援計画や個別の指導計画を作成している幼児に対しては、小学校以降も継続して、教育的支援が受けられるよう、丁寧な引継ぎを行っていく。その他、気になるあらわれがある幼児に対しても、巡回相談の記録などを引継ぐ。

### (3) 加配者による支援の充実

- ・支援を必要とする子の実態に合わせ、加配職員を配置し、個に応じた支援の充実を図る。

### (4) 療育施設併用児・医療ケア児に対する支援の充実

- ・療育施設を利用するお子さんの受け入れに努める。
- ・医療ケア児に対しては、状況に応じて受け入れの方法を検討していく。

### (5) 特別支援教育にかかる保育者などの専門性の向上

- ・特別支援教育にかかる研修会には積極的に参加し、子どもの見方・特性に合わせた支援・保護者対応を学び、多様な障がいに応じた支援方法を身につける。